

1 この科目の構成について

教 科	外国語	科 目	英語表現 I	単 位	1 単位
対象コース	美術コース	対象クラス	1 年 8 組		
使用教科書	Vision Quest English Expression I Standard				
使用副教材	Vision Quest ビジョン・クエスト総合英語 Vision Quest English Expression I Standard WORKBOOK				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
○ 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける	
1 与えられた話題について、聞き手や目的に応じて話すことを通じてのコミュニケーションを図る	
2 与えられた話題について、聞き手や目的に応じて書くことを通じてのコミュニケーションを図る	
3 聞いたこと、読んだこと、学んだことや経験したことに基づいて、情報や考えなどを整理して発表する	
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
<p>まずModel ConversationとListening Taskを通してダイアログの内容とそのレッスンで習得する内容を確認します。PronunciationやFunctionを通して発音や英語の元として持つ機能について学習します。これは自分が発信する場合にはもちろん、ほかの人の言っていることを聞き取るためにも大変必要な知識となります。Grammarとそれに続くExerciseではそのレッスンの文法的側面から学習します。Use Itや準拠Workbookを通して文法に基づいた確認作業や運用練習をした後、Expressing, Activityを通して与えられた話題について新しく得た知識なども取り入れて、友達と積極的にコミュニケーションを図る練習をします。</p>	
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
(1) 学校	
習ったことを積極的に使う	授業内には活動の場が多く取り入れられています。今習ったことをその場で使うことで自分の身に付けることができます
ノートの取り方に工夫をする	板書だけでなく、間違ったところや重要なところは線を引いたり、メモをするなどノートを取る際も積極的な姿勢が必要です。
(2) 家庭	
予習、復習を必ず行いましょう	予習は教科書のExerciseがそれにあたります。教科書のGrammarや参考書Vision Quest総合英語を参考に自分で解きましょう。また復習として準拠Workbookに取り組んで下さい。
Model ConversationやGrammarのページは必ず音読しましょう	音読は英語の基本です。授業中だけでなく、家庭学習の中心に位置づけて下さい。

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
定期考査 70% 授業への参加状況 10% 課題提出 10% 小テスト（英単語など）10%	
評価における定期考査の割合	
70%	

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度	主に授業中の活動を通して評価します ①間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている ②積極的に周囲とコミュニケーションを図ろうとしているかが評価の観点となります（10%）
(2) スピーキングやライティングを通して計る表現の能力	Use ItやExpressing, Activityでの発表を通して評価します（10%）①英語らしい発音で発話している ②自分のことと与えられた課題について話す ③紹介するトピックを決めて、原稿を準備し発表する ④学んだ文法を使って、文章を書くことができる
(3) リスニングやリーディングを通して計る理解の能力	授業中の課題の点検や提出された課題の内容などを通して評価します。またListening Taskや周囲の活動の理解度なども評価の参考とします（20%）
(4) 言語や文化についての知識・理解	小テスト（10%）や定期考査（70%）また授業中の課題の解答確認などを通して評価します ・それぞれのページで学んだ文法を理解し、それを知識として定着させている

5 この科目の学習計画について

年間学習計画 —この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—S: Speaking W: Writing L: Listening R: Reading				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	表	理	知
1	4	Lesson 1 Let's have lunch together sometime (6時間)	(S) 相手の名前や誕生日などのプロフィール情報を尋ねることが出来る。そのための適切な相づちや聞き直しなどの表現を学ぶ (W) 相手の名前や誕生日などのプロフィール情報を文章にまとめる	●	●		
	5	5/25	そのために様々な種類の文(平叙文、否定文、疑問文、命令文、感嘆文)を学ぶ (L) 相手のプロフィール情報をきちんと聞き取る。聞き取れない場合には聞き返す (R) 人を紹介する会話を読んで、その内容を理解する				
	6	Lesson 2 Are you interested in Japanese Anime? (6時間)	(S) 機能語や内容語に着目し、英語らしいリズムで発話へ移行する興味関心について英語でやりとりをする (W) 普段行うことや、部屋にあるものを紹介するなどして、自分の趣味や好きなことについて文章を書く。またその際には五文型をもとにして、様々な動詞を用いる。 (L) 機能語や内容語に着目して、英語のリズムをつかむ (R) 興味や関心についての会話を読んで、その内容を理解する		●		●
2	7	第2回定期考査 7/6					
	8	Lesson 3 I'm going to Okinawa with my family (6時間)	(S) 計画や予定を表す表現を使い、旅行の計画や過去の旅行について平易な英語でやりとりをする (W) 予定や計画、過去の旅行の経験を表現するために様々な時制を用いた英文を書く (L) 旅行の計画についての会話の内容を聞いて理解する (R) 旅行の計画についての会話を読んで、その内容を理解する	●			●
	9	9/14					
3	10	第3回定期考査			●		●
	11	Lesson 4 I hear you've joined the soccer team (7時間)	(S) 現在完了形を用いてスポーツの経験の有無について簡単な会話をする。また進行形を用いてスポーツをしている人について英語で表現をする (W) 完了時制を使って、過去に行ったことのある場所や、初めて経験したことを平易な文章で書く (L) クラスメイトが話すスポーツの話題についてその内容を理解する。英語の子音を聞き分ける (R) スポーツを話題にした会話を読んで、その内容を理解する				
	12	11/9					
3	1	Lesson 5 Can you tell me what ammitsu is like? (7時間)	(S) 許可や依頼の表現を用いつつ、レストランで食べたいものを注文したり、身近な物事を英語で言えるかどうかなど、相手の知識を問う簡単なやりとりをする (W) 助動詞を用いて、学校の規則や過去の習慣、将来してみたいことを平易な文章で書く (L) カナカナ英語の正しい発音を理解する (R) レストランでの会話を読んで、その内容を理解する	●		●	
	2	第4回定期考査					
	3	1/25					
		Lesson 6 I'm glad I can see the Sydney Opera House (6時間)	(S) 受動態や時間、日付などを用いて歴史的な建物について、発表する。様々な国や都市について簡単なクイズをする (W) 受動態や感情を表す表現を用いて、自分の趣味や好きなものについて平易な文章を書く。最近身の回りに起こったことやそれについて思ったことについて簡単な文章で表現する。 (L) 数字を含む英語を聞いて理解する (R) 観光についての会話を読んで、その内容を理解する	●	●		